

# 八尾支援学校 校長室だより

No. 2

令和2年7月3日  
大阪府立八尾支援学校  
校長・准校長

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、大阪府立学校は3月2日から一斉臨時休校となっていました。6月1日から段階的に教育活動を再開し、本校においては、6月22日からようやく本格再開にいたしました。

「新しい生活様式」「With コロナ」といわれるように、新型コロナウイルス感染症とともに生きていく社会を作るためには、感染リスクはゼロにならないということを受け入れつつ、感染レベルを可能な限り低減させながら学校教育活動を継続していくことが重要となります。

このような考えから、政府は、地域の感染レベルに当てはめた学校の行動基準を示しました。

現時点の行動基準は、「十分な感染対策を行った上で授業や行事などの教育活動を実施」ですので、本校におきましても、それを踏まえながら、教育活動を推進してまいります。

## 本年度の行事について

例えば、昨年の運動会は、小・中・高3学部が合同で一日開催としましたが、児童・生徒数は400名以上であり、観覧にお越しになる保護者・関係者の皆さまを合わせますと、本校の運動場に1000人以上が集まるという「密な状態」となってしまいます。したがって、これまでと同様の規模や内容での実施は難しいと考えています。



しかしながら、「体育学習の成果発表の場」は必要であり、従来の形にとらわれることなく「成果発表の場」を設定すべきであると考えています。

学習発表会につきましても同様のことが言えます。



このように、保護者の皆さまがお持ちの「これまでの行事」のイメージとは異なるものとなるかもしれませんが、各行事のねらいを再確認し、小・中・高3学部が一丸となってアイデアを出し合い、「新しい生活様式を踏まえた行事」を検討しています。

## 本年度の水泳授業について

本年度の水泳授業につきましてはどのような工夫をすれば、プール内やプールサイドでの児童・生徒の「3密」を回避しながら実施できるか、という観点から検討を進めています。

詳細につきましては、別途お配りする「お知らせ」をご覧ください。

